

# 摂食嚥下リハビリテーション

②栄養・水分管理 口腔ケア

初台リハビリテーション病院

菅原英和

# 摂食嚥下リハビリテーション

- ① 栄養・水分管理
- ② 口腔ケア
- ③ 嚥下訓練（間接訓練）
- ④ 嚥下訓練（直接訓練）

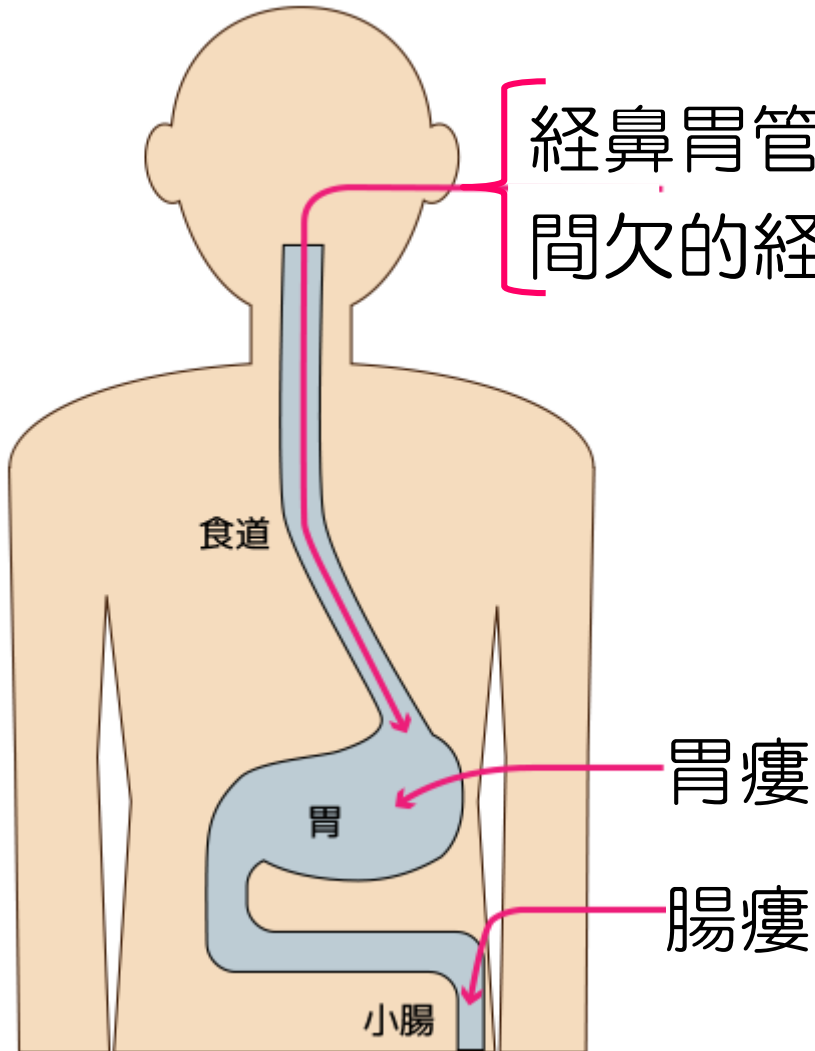
# 摂食嚥下リハビリテーション

- ① 栄養・水分管理
- ② 口腔ケア
- ③ 嚥下訓練（間接訓練）
- ④ 嚥下訓練（直接訓練）

# 經腸營養法

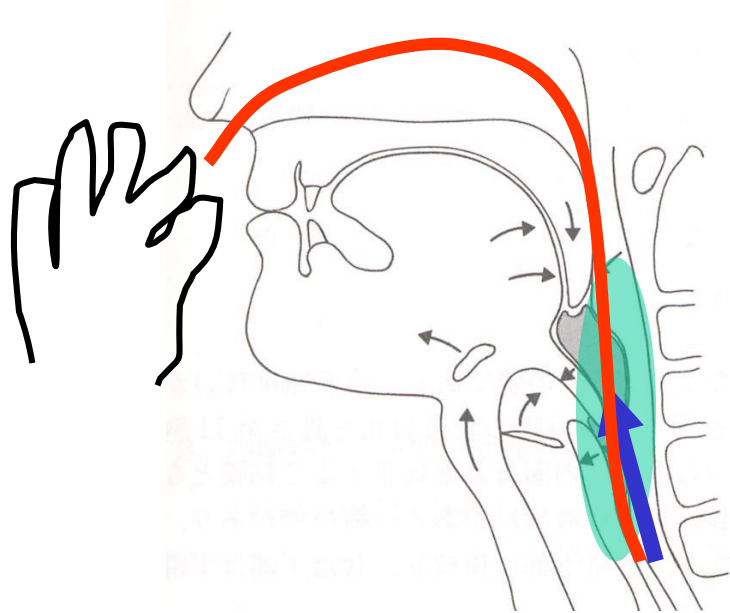
經鼻胃管留置

間欠的經管營養法



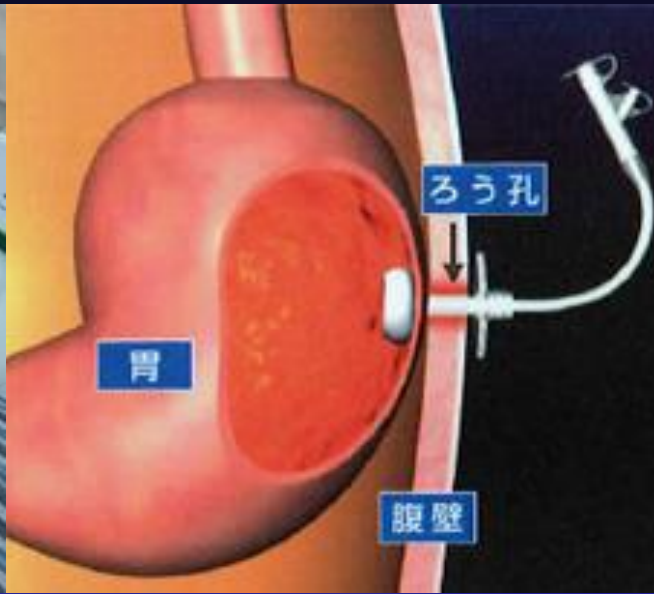
# 経鼻胃管長期留置の影響

喉頭蓋反転を邪魔、下咽頭の感覚域値上昇⇒嚥下訓練の効率低下  
下咽頭の衛生状態を悪化⇒誤嚥性肺炎の併発率上昇  
逆流防止機構を阻害し胃食道逆流を誘発⇒誤嚥性肺炎の併発率上昇  
患者の慢性的な苦痛⇒自己抜去予防に抑制⇒意欲低下 の悪循環



経鼻胃管留置は急性期の時期に最も多く使われる方法

# 胃瘻



## ＜経鼻胃管留置との比較＞

- 鼻からのチューブが無くなり、嚥下運動が起きやすくなる
- 手の抑制が不要
- 苦痛が減り、表情が改善する
- 口腔内の衛生状態が改善する→肺炎が起きにくくなる
- 注入にかかる時間が減る（半固形化栄養剤の使用で）
- 下痢嘔吐が減る（半固形化栄養剤の使用で）

# 摂食嚥下リハビリテーション

- ① 栄養・水分管理
- ② 口腔ケア
- ③ 嚥下訓練（間接訓練）
- ④ 嚥下訓練（直接訓練）

# 口腔ケアが不十分な状態では 食物・水分・唾液すべてが汚染される

口腔ケア前



口腔ケア後



誤嚥性肺炎の原因菌＝口腔内の細菌



RAINBOW

DIFFICULT TO CURE



口腔ケアが不十分な状態で嚥下訓練を行うのは汚れた手で手術するようなもの

# 口腔ケアの徹底・自己管理

## スポンジブラシ



水で湿らせたスポンジ部分で、頬や唇の内側、歯ぐき、上あご、舌などの汚れをやさしく取り除く

## 舌ブラシ



舌苔（舌のはがれた上皮や食べカスに口腔内の細菌が結びついたよごれ）を落とす

## 歯ブラシ



歯磨きの目的は歯垢を取り除くこと。歯垢は水に溶けにくく、粘着性があるため歯の表面に付着し、うがいでは取り除くことができない

